

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0981
施設名	池上長尾保育園
施設所在地	大田区池上8-25-6
法人名	社会福祉法人 長尾会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触あそび

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・当保育園は、五感での活動を大切にしており、特に乳児は夏に感触遊びを楽しんでいます。感触遊びをする事で、幼児クラスで造形活動を行う際に、ノリや絵の具の活動をスムーズにする事ができます。感触あそびはわかめやはるさめ、オフ、泡などを使っていましたが、今回は足でもダイナミックに感触を楽しめるように感触遊び用の絵の具やバスゼリー等も安全に配慮しながら使いました。

2. 活動スケジュール

計10回 (6月3回、7月3回、8月3回、9月1回)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・のびのび活動できるように、外(園庭や2階テラス)で活動を行った。
また、模造紙もダンボールに貼り、絵の具を塗り広げていきやすいように準備した。
- ・バスゼリーなどに入る際は、手で感触を確かめ、楽しんでから入るようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・絵具の感触の塗り広げを行う。感触遊び用の絵の具を使用したため、手でこねると少しネチネチするような感覚がある。
- ・絵の具の感触遊びを回数を重ねる。回数を重ねるごとに、慣れて自分から絵の具を触ろうとする。
- ・泡・寒天・ワカメ・バスジェリーなどの感触あそびを行い、感触の違いを感じる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・絵の具の感触あそびでは、初めは戸惑っている子も多かったが、絵の具の感触を確かめたり、塗り広げる中で「気持ちいい。」と言っている子も多かった。慣れるまで、保育者が側で見守っていたが、慣れてくるとどんどん塗り広げたり、手で感触を確かめて楽しんでいた。泡やバスジェリー、寒天も手で握ったり、「固いね」「冷たいね」「やわらかい」など言葉にしなが、楽しんでいる様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・絵具の感触あそびでは、色がついている事で、楽しんで触って遊んでいる子が多かったように思う。初めは、少し嫌がっていた子も他児がやっているのをみているうちに、触ったりしていた。
- ・絵の具をネチネチしながら、「パンみただね」など、2歳児の子どもたちは食べ物にたとえている子が多かった。何度も手に絵の具をつけながら、感触を楽しんでいた。
- ・回数を重ねる事で、よりダイナミックに手や足、身体を使って感触を楽しんでいた。
- ・ゼリーの感触や泡の感触など、慣れてくると「きもちいい」と言って楽しんでいる。

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-0981		
施設名	池上長尾保育園		
施設所在地	大田区池上8-25-6		
法人名	社会福祉法人 長尾会		
活動期間	令和 7 年 4 月 から 令和 8 年 3 月		
活動内容の公表	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。		
	公表したホームページ等のURL		

2. 活動報告（注1）

番号	1					
テーマ	感触あそび					
実施回数・期間 (注2)	計10回（6月3回、7月3回、8月3回、9月1回） 令和7年6月～9月					
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	12人	14人	15人			
活動内容 (注3)	<ul style="list-style-type: none"> 氷や高野豆腐、わかめやゼリー（バスボム）泡、絵の具など手や身体、足などを使って、感触遊びをダイナミックに楽しむ。 					
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか ・普段一緒に生活しているグループでの活動にすることで、慣れていたので、活発に言葉を発する事ができた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか ・写真とメモで記録した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか ・子どもたちの「楽しい」「気持ちいい」「もっとやりたい」という気持ちに共感し、子どもたちがどのように活動していくか、見守ったり、時には気持ちを代弁する。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 ・その都度、会議を行い、よかった点や改善点、子どもの様子などを話し合ったり、写真を見返して、共有、確認した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 ・職員には、職員会議で共有し、保護者の方には、保護者会や日々の活動の記録で共有した。また、年度末にホームページにて掲載する。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 ・子どもたちが、感触あそびを楽しめるように、触るものを何回か同じものを出したり、内容を変えたりした。また、十分な場所が使えるように配慮した。					

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。